

令和4年度

(下期) 長洲町下水道事業業務状況説明書

長洲町下水道事業

令和4年度（下期）長洲町下水道事業業務状況説明書

（令和4年10月1日～令和4年3月31日）

1 事業の概要

（1）水洗化人口

公共下水道事業	13,768 人
個別排水処理事業	152 人
特定地域生活排水処理事業	82 人
合 計	14,002 人

（2）総処理水量

うち長洲処理区流入分	1,125,955 m <sup>3</sup>
うち岱明処理区流入分	641,543 m <sup>3</sup>
	484,412 m <sup>3</sup>

（3）一日平均処理水量

6,187 m<sup>3</sup>

（4）有収水量

公共下水道事業	628,853 m <sup>3</sup>
個別排水処理事業	5,948 m <sup>3</sup>
特定地域生活排水処理事業	3,193 m <sup>3</sup>
合 計	637,994 m <sup>3</sup>

（5）主要な建設改良工事

	発注額
ア. 公共汚水柵設置工事・汚水枝線管渠布設替工事	10,176 千円
イ. 合併処理浄化槽設置工事	2,185 千円

## 2 経理の状況

### (1) 予算執行状況

#### (ア) 収益的収入及び支出

##### (収 入)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業収益	856,909,000	352,608,680	846,465,324	99%	
第1項 営業収益	344,961,000	166,607,992	340,552,360	99%	
第2項 営業外収益	511,945,000	186,000,688	505,912,964	99%	
第3項 特別利益	3,000	0	0	0%	

##### (支 出)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業費用	817,601,000	424,464,363	788,536,140	96%	
第1項 営業費用	754,579,000	400,433,822	734,950,581	97%	
第2項 営業外費用	53,930,000	24,030,541	53,585,559	99%	
第3項 特別損失	5,000	0	0	0%	
第4項 予備費	9,087,000	-	-	-	

※予算額については、予備費充用後の額になります。

#### (イ) 資本的収入及び支出

##### (収 入)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 資本的収入	657,198,000	377,066,948	515,076,435	78%	
第1項 企業債	260,100,000	198,700,000	198,700,000	76%	
第2項 他会計出資金	155,873,000	38,970,048	155,872,048	100%	
第3項 他会計補助金	11,891,000	11,023,000	11,023,000	93%	
第4項 国庫補助金	189,900,000	110,077,000	110,077,000	58%	
第5項 工事負担金	39,433,000	18,296,900	39,404,387	100%	
第6項 固定資産売却代金	1,000	0	0	0%	

##### (支 出)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 資本的支出	985,151,000	491,907,346	810,174,354	82%	
第1項 建設改良費	439,211,000	219,636,679	268,547,468	61%	
第2項 企業債償還金	541,630,000	272,270,667	541,626,886	100%	
第3項 国庫補助返還金	1,000	0	0	-	
第4項 予備費	4,309,000	-	-	-	

※予算額については、予備費充用後の額になります。

## (2) 令和4年度長洲町下水道事業損益計算書

(令和4年10月1日から令和5年3月31日)

1	営業収益			
	(1) 使用料	111,073,026		
	(2) 他会計負担金	5,771,856		
	(3) 区域外流入負担金	38,436,893		
	(4) その他の営業収益	231,900	155,513,675	
2	営業費用			
	(1) 管渠費	13,918,779		
	(2) ポンプ場費	2,351,953		
	(3) 処理場費	90,577,054		
	(4) 浄化槽施設費	3,636,500		
	(5) 普及指導費	214,747		
	(6) 業務費	14,186,660		
	(7) 総係費	14,205,406		
	(8) 減価償却費	243,248,573		
	(9) 資産減耗費	7,281,659		
	(10) その他営業費用	30,565	389,651,896	
	営業損失			234,138,221
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	1,471		
	(2) 他会計負担金	67,764,685		
	(3) 長期前受金戻入	115,227,522		
	(4) 資本費繰入収入	1,551,534		
	(5) 雑収益	890,660	185,435,872	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	25,361,041		
	(2) 雑支出	6,154,712	31,515,753	153,920,119
	経常損失			80,218,102
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	0	0	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	0	0	0
	当期純損失			△ 80,218,102
	前期繰越利益剰余金			153,398,196
	その他未処分利益剰余金変動額			50,000,000
	当期末処分利益剰余金(欠損金)			123,180,094

(3) 令和4年度長洲町下水道事業貸借対照表  
(令和5年3月31日)

		資産の部	
1	固定資産		
(1)	有形固定資産	13,737,650,051	
	減価償却累計額	△ 3,025,778,780	
	有形固定資産合計	<u>10,711,871,271</u>	
	固定資産合計		10,711,871,271
2	流動資産		
(1)	現金預金	197,203,858	
(2)	未収金	7,810,653	
	流動資産合計		<u>205,014,511</u>
	資産合計		<u>10,916,885,782</u>
		負債の部	
3	固定負債		
(1)	企業債	3,503,527,428	
	固定負債合計	<u>3,503,527,428</u>	3,503,527,428
4	流動負債		
(1)	企業債	522,421,388	
(2)	未払金	9,772,410	
(3)	引当金	3,259,939	
	流動負債合計		535,453,737
5	繰延収益		
(1)	長期前受金	6,030,054,342	
(2)	長期前受金収益化累計額	△ 1,401,093,388	
	繰延収益合計	<u>4,628,960,954</u>	4,628,960,954
	負債合計		<u>8,667,942,119</u>

資本の部

6 資本金		
(1) 自己資本金	1,828,932,573	
資本金合計	<u>1,828,932,573</u>	1,828,932,573
7 剰余金		
(1) 資本剰余金	220,830,996	
(2) 利益剰余金	199,180,094	
剰余金合計	<u>420,011,090</u>	420,011,090
資本合計		<u>2,248,943,663</u>
負債・資本合計		<u><u>10,916,885,782</u></u>

## 令和 5 年度予算の概況及び経営方針

本町の下水道事業につきましては、公共用水域の水質の保全を図りながら安心して生活ができる環境をつくり、安全な施設で継続的な污水处理ができるよう計画的な運営に努めているところです。

令和 5 年度の下水道事業会計予算は、業務の予定量として污水处理件数 5,957 件、年間総污水处理水量 2,304,460 m<sup>3</sup>を見込んでおり、これらに必要な諸経費及び使用料収入等を計上しました。

収益的収支につきましては、事業収益 865,899 千円を計上し、内訳は営業収益 340,379 千円、営業外収益 525,517 千円、特別利益 3 千円となっております。事業費用につきましては 822,804 千円を計上し、内訳は営業費用 766,745 千円、営業外費用 46,054 千円、特別損失 5 千円、予備費 10,000 千円となっております。

次に資本的収支ですが、令和 5 年度の主な建設改良事業として管渠改築更新事業と浄化センター施設再構築事業の事業費を計上しました。収入においては、これら支出に対応する財源として、国庫補助金、分担金、企業債等を計上しました。その結果、資本的収入 795,892 千円、資本的支出 1,133,769 千円となり、差引 337,877 千円の財源不足となる見込みですが、これは損益勘定留保資金、積立金の処分等により補てんすることとしております。

さらに、経営につきましては人口減少や施設の老朽化等、経営環境が厳しさを増す中で、サービスの安定的な継続のため、経営戦略の見直しを随時行いながら、より一層の経営の効率化・健全化を図るとともに、水洗化の促進及び施設の適切な維持管理に努めてまいります。